

令和5年度

# 参加企業 募集

 地域の人事部

「地域の人事部」とは？

地域の支援機関が単体で企業支援するのではなく、地域の支援機関、自治体等がそれぞれの強みを活かし一丸となって地域中小企業等の多様な人材活用を推進する体制です。

地域事務局：松本商工会議所

構成機関：松本市、一般財団法人松本ものづくり産業支援センター、八十二銀行、長野銀行、長野県信用組合、松本信用金庫、信州大学

応募締切：2023年8月25日（金）

## 兼業・副業人材の活用で 経営課題の解決に挑戦する企業を募集します！

松本市では令和4年に松本商工会議所が事務局となり「地域の人事部」が立ち上がりました。そこで松本市内の中小企業や小規模事業者※1等の皆様が、「地域の人事部」の支援を受けながら経営課題解決を実施するプロジェクト（#復活）を実施します。

「#復活」では「①自社の経営課題の整理」、「②兼業・副業人材との出会いの場への参加」、「③兼業・副業人材との面談やマッチング」を「地域の人事部」が伴走支援いたします。

支援内容：自社の経営課題の整理、兼業・副業（兼業・副業）人材への募集資料等の作成、兼業・副業望人材との交流会のご参加（オンライン/現地）、兼業・副業人材からの提案を踏まえた面談者の検討、兼業・副業人材との面談等を経営支援機関がサポートします。

必要費用：マッチング後の兼業・副業人材への報酬等

※マッチングに要する費用はかかりません

※兼業・副業人材への報酬は企業と人材双方の相談により異なります

※本事業へのご参加は松本市内の小規模事業者を含む中小企業が主な対象になります

※松本市内企業様限定で、マッチング後の副業・兼業人材雇用にかかる補助金あり

「#復活」では、松本市内の中小企業等と人材が兼業・副業マッチングを通じて経営課題解決を目指します



松本市内の中小企業等



兼業・副業人材

- ・兼業・副業人材のスキルや経験で経営課題を解決したい
- ・外部の視点を事業に取り入れたい

- ・スキルや経験を地域で活かしたい
- ・経営者のビジョンや想いに寄り添いたい

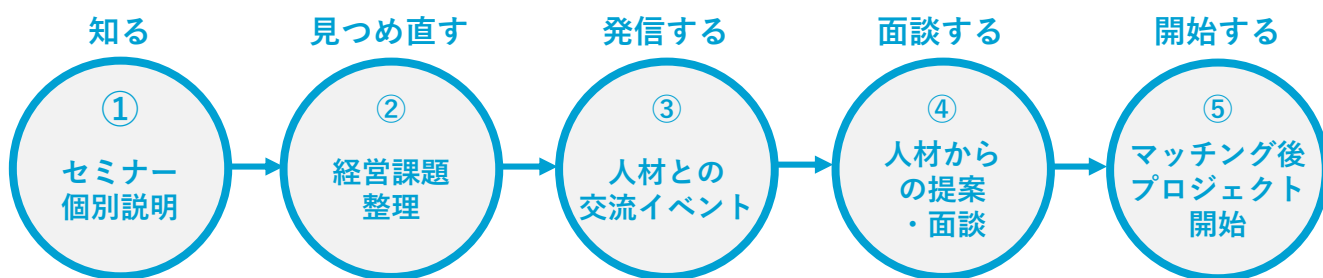
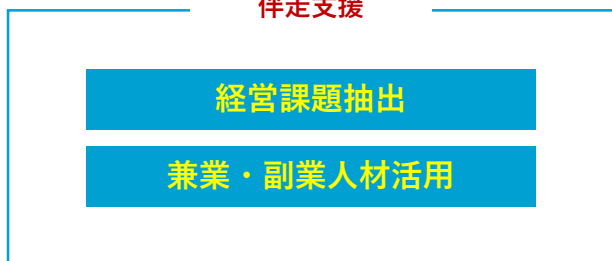
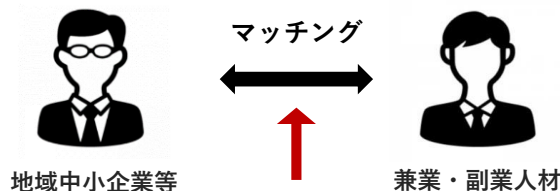
【協力】

松本市、一般社団法人松本ものづくり産業支援センター、八十二銀行、長野銀行、長野県信用組合、松本信用金庫、信州大学

# #復活（兼業・副業人材とマッチングし経営課題解決を目指すプロジェクト）とは？

「#復活」は、松本市の経済を支える地域の中小企業・小規模事業者等と都市部等に在住する兼業・副業を希望する人材のマッチングと両者の協働で経営課題解決を目指します。

参画企業は、松本商工会議所をはじめとした支援機関等から構成された事務局（地域の人事部）の地域一体型支援を受け、①個別説明、②企業の経営課題整理、③兼業・副業人材へ企業説明等を実施する交流イベントへの参加、④兼業・副業人材から提案を受け課題解決を目指す面談、⑤兼業・副業人材とのマッチング後のプロジェクトの開始といった一連のプロセスに参加いただきます。



## 過去の「#復活」マッチング事例

金属加工業（松本市）

兼業・副業人材



企業：加工技術は高いが半完成品を製造していることもあり若手社員の業務へのモチベーションアップに悩んでいた。

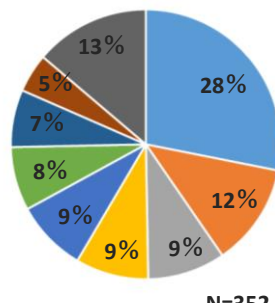
人材：元大手広告代理店勤務の個人事業主。中高生へのキャリアセミナーなどを実施

**若手社員数名と自社の金属加工技術についての整理を行いながら新商品開発プロジェクトを実施し、その開発過程の体験から社員のモチベーションアップを狙うプロジェクトを実施中。**

## 令和4年度 #復活参加希望者属性

### 職種

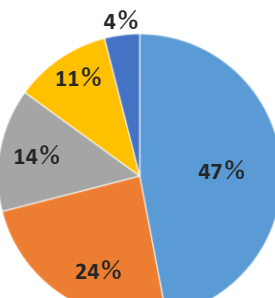
- 企画・マーケティング・事業開発
- 経営・財務
- 法務・総務・事務
- クリエイティブ（デザイン・動画編集等）
- 広報・PR
- 人事・採用
- ITエンジニア（システム開発・SE・インフラ等）
- エンジニア（機械・電子・科学等）
- その他



N=352

### 参加希望動機

- 地域の人や企業との新たな出会いや繋がりが
- 本業や会社外での経験を積みたい
- 本業では得られないやりがいを感じたい
- 金銭的な報酬を期待している
- その他



お問い合わせ窓口：松本商工会議所（担当：依田）  
 TEL 0263-32-5350 E-Mail [yoda@mcci.or.jp](mailto:yoda@mcci.or.jp)  
 #復活 お申し込みフォームURL  
<https://forms.office.com/r/BfaqUgAG8q>

お申込みは、右記QRコードから、もしくは、左記松本商工会議所へご連絡下さい。

